

No. 68

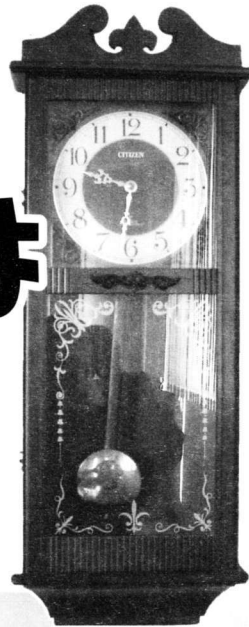
2007

10月31日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
木下 豊
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

振り子は 戻るか



区内でも変わりつつある景観（環境）

「暑いねー」「今年は暑い日がいっつも続くねー」「もう暑くてたまらんよー」。今年の夏は近年に無い暑さが九月末まで続いた。太平洋高気圧にめったにないチベット高気圧が重なったためらしいが、七十四年ぶりに最高温度を更新し、40.9℃になった。今年度から定義された猛暑日も一気に認知された。地球温暖化が叫ばれて久しいが、身近に感じた人も多かったのではないだろうか。

人間の活動で発生するCO₂の増加が温暖化の主な原因だという。集中豪雨があったり、熱波で死者が多数でたり、穀倉地帯の干ばつや、北極海の氷が解けて船で通行できたりと異常現象が地球のあちこちで発生している。人間は異常現象だと叫んでいるが、地球の方は自然そのまの姿を表現しているだけである。温暖化の怖いのは、いろんなところや物に影響を及ぼすことである。気候の変動を始め、作物への影響、海面の上昇、花木が枯れる、経済活動の変化等々、人間生活のあらゆる面に変化を与え、それが連鎖となって人間にとって良くない新たな環境が出現することだ。

環境危機時計は昨年より十四分進み現在時は九時三十一分で「極めて不安な状況」を指しているという。このまま環境が悪化して人類が滅亡する十二時へ刻々と時を刻むのか、それとも人間の知恵がそれを止めて振り子に戻るのか。

区の情勢について

区長 木下

▼町一斉防災訓練に下市田の緊急連絡網の活用訓練

下市田区に昨年度末、新しく出来た下市田区緊急連絡網を使って伝達訓練を行いました。今回は初めてのことであったので予めその内容が知らされておったこともありましたが午前五時に区長から発信された「訓練・訓練大災害が発生しました。大至急最寄りの会場へ集合してください」の情報が自治会本部（副区長）、委員会本部（区会計）、消防団の三つの系統から流され、それが末端まで三十分以内に90%以上伝達されたことが分かりました。

日常、当たり前に使っている通信網が災害などで機能しなくなった時のこと、また隣近所の安否を確認し合う上からも声をかけ合うことを大切に、このような訓練も数を重ねて下市田区の防災組織が「いざ」というとき成果が上がるものになるよう努めたいものです。

▼下市田区有林の災害復旧

昨年七月の集中豪雨で山の神上の区有林に災害が発生し、生しその復旧工事が行われています。

豊

豊丘村の尾畑組が

一千九百七二万九千五百〇〇円で落札し、工期は平成十九年八月二十七日より平成二十年一月三十一日までです。なお、この工事に必要な作業道を開けるため区有林の立木が相当量伐採されます。

▼出砂原六地蔵前の「ハナノキ」について

この「ハナノキ」は樹齢八十五年位と言われており、ますが町の教育委員会と高森町自然愛護会が以前から稀少植物として指定しています。しかし、この木が大きくなり、横にある火の見

委員会活動報告

林務委員長 木下富由

林務委員会は各区二名ずつ代表の十二名で構成され、区及び萩山神社の財産である森の管理及び手入れを主な任務としています。その為区民の皆様に出労していただいておりますが、委員会として、計画準備を立案し作業しやすい様に前作業を年に八回程行っています。また、毎年少しずつですが進入路の確保の為の道作りも進めています。正月の神社境内のかがり火の準備も



櫓の高さを追い越すようになったことから地元から倒伏の危険や落ち葉の処理が大変だから何とかして欲しいとの要望があったので町・区・地元・自然愛護会の四者により協議の結果、切り縮めて形を整え、今後の管理をし易くするための処置は町が行い、その後の管理については地元・区・自然愛護会が行うことで合意し、落ち葉にならないうちにその作業を行うことになりました。この「ハナノキ」の紅葉は素晴らしいので是非一度ご覧になることをお勧めします。

大きな仕事の一つになっています。

以上委員会の活動の一端を述べましたが、全員二年間の任務を全うしています。

平成19年度 下市田区一般会計中間決算報告書

(自平成19年4月1日～至平成19年9月30日)

決算収入額 21,930,374円 決算支出額 10,679,621円 差引残高 11,250,753円

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減
1. 区費	15,000,000	7,729,200	- 7,270,800
2. 繰入金	550,000	0	- 550,000
3. 町支出金	4,500,000	3,824,016	- 675,984
4. 財産収入	1,600,000	893,387	- 706,613
5. 地元負担金	200,000	96,520	- 103,480
6. 消防義務金	2,100,000	2,100,000	0
7. 諸収入金	1,500,000	253,963	- 1,246,037
8. 前期繰越金	4,700,000	7,033,288	2,333,288
収入合計	30,150,000	21,930,374	- 8,219,626

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減
1. 総務費	12,020,000	3,282,118	- 8,737,882
2. 環境衛生費	1,050,000	0	- 1,050,000
3. 林務費	900,000	119,327	- 780,673
4. 土木費	4,800,000	2,310,746	- 2,489,254
5. 水利費	4,060,000	1,324,310	- 2,735,690
6. 防災費	2,600,000	1,283,120	- 1,316,880
7. 公民館費	3,000,000	1,500,000	- 1,500,000
8. 予備費	1,720,000	860,000	- 860,000
支出合計	30,150,000	10,679,621	- 19,470,379

平成19年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自平成19年4月1日～至平成19年9月30日)

決算収入額 2,151,427円 決算支出額 1,716,339円 差引残高 435,088円

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減
繰越金	535,000	535,631	631
繰入金	3,000,000	1,500,000	- 1,500,000
補助金	370,000	100,000	- 270,000
雑収入	1,000	15,796	14,796
収入合計	3,906,000	2,151,427	- 1,754,573

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減
総務費	2,100,000	890,372	- 1,209,628
事業費	1,700,000	792,928	- 907,072
広報費	20,000	6,639	- 13,361
予備費	86,000	26,400	- 59,600
支出合計	3,906,000	1,716,339	- 2,189,661

地元町議との懇談会

平成十九年度、地元出身町議会議員との懇談会が、去る六月九日(土)午後七時より下市田区民会館に於いて開催されました。

久保田昌幸議員・上沼眞守議員・宮外正彦議員・小島福夫議員の四議員が出席され、順次活動報告の後、地元住民の皆さんから質問を寄せて頂き、各議員に意見を述べて頂きました。

質疑応答

Q 地区計画の新規は○予算と聞くが、どのようにこのまま進められるのか。

A 地区計画は多い時代になった。従来のようにはいかないの、少ない予算は皆でよく考えて使っていないといけない。何でもかんでも、提案しても取り上げられない。

Q 湯ヶ洞街道と国道の交差点に信号機を地元では要望しているが、ダメだダメだの返事ばかり、下の坂牧線農道が開通すると交通量が多くなり危険が増す、何かいい方法はないか。

A 複雑な交差点なので中々公安委員の許可が得られない。事故が起きないと県も動かない。牛牧の安心市場の信号設置にみられるように地元の陳情、要望が大きいく影響する。議会としても持ち帰り検討したい。

Q JR市田駅の踏み切りを歩道をつけてほしい、今までも要望している。

A 歩道設置にJRは反対していない。工事費は全額地元負担しなければならぬ。南側は莫大な費用が掛かるが、北側は三、四千万円では無理かも知れないが、これだけの金を町が負担すれば不可能ではない。

Q 北側だけでも実現できるようにお願いしたい。

Q 通学路の羽根坂は急坂で車が危険だ、標識を設けてほしい。中下さん辻に標識を設けてくれるように要望してあるがどうなっているか。

A 横断歩道は公安委員の許可がとれないので白線しか引けない。

Q 交通量が多いので通学路であることがわかるようにしてほしい。

A 町と相談したい、良い案があったら皆さんからも出してほしい。

A いろいろな会で皆さんも発言して実現できるように後押ししてほしい。

Q 町民グラウンドの今までの駐車場が宅地化され、無くなったが、これから宅地化が進むのか、駐車場スペースをどうするのか。

A 資料館の方へも駐車できるの、そちらも利用願いたい。

A 今までの駐車場の利用について、区としても検討したが地主さんの強い要望にしてほしい。



もありお返しした。南側に新たに駐車場を造ったが足りない。区としても地元の人達に迷惑がからないように駐車スペースの確保を、教育委員に文書で二月要望した。

Q 蘭センターの収入が、前年五〇〇六〇万円増えたが、議会本会議中継で聞きたが。

A 十八年度は前年に比べ、三千人程入園者が増えた。

収入

十七年度	一二九〇万円
十八年度	一三七〇万円

持ち出し

十七年度	六二九〇万円
十八年度	四八〇〇万円

であるが、職員の人件費が減っただけである。中味は根本的には収支が改善した訳ではない。

Q 介護保険、老人保健など諸費用の増加が見込まれる中、片側では赤字を補填しているのでは、バランスと言うものを議会としても審議してほしい。

Q 町の借金はどの位あるのか。今年借金をいくらするのか。

A 今年借金は四億六八五〇万円、大きなものは南小のエコ改修費用です。今までの借金は、一般会計七億

円位、それ以外に下水道会計が四五億円位あります。

Q 健康保険会計が赤字だから、皆からもらわなければならぬと言う話でしたが、蘭の赤字問題をそのままだにしておいて、保険会計が赤字になったら皆から集めると言うのでは腑におちないが、どんなもんか。

A 一町民として考えれば自分もそう思う。それぞれが目的が違うので、蘭は蘭として保険と一緒に考えるものではないと思う。

Q 介護保険の納付書問題は、職員の怠慢である。他のことにも波及するので行政側の意識改革もよく見てほしい。

A 二件の納付書を送らなかった件は町長が議会でお詫びをした。毅然とした態度で取り組むよう職員に言っている。

Q 旧下市田学校は価値のあるものだ。歴史、遺産を生かして残していくことを考えてほしい。

A 他の同じような施設を視察した。活用しようとするお金がかかる。借金までしてやれとは言えないが、前向きに取り組んでいるのを見守ってほしい。

A 下市田学校の扱いは、区に投げかけられているはずである。

A 積極的にどうしていくと言う具体的な動きは、現在のところ区としてもない。皆さんから具体的提案があれば町とも相談し考えていきたい。

Q 地区計画に始まり、地元の問題や町の財政問題まで、多方面に亘る話し合いがなされました。

地元の皆さんの議会への関心の高さを表われたと考えられます。

今後、地元と議会を結び、パイプ役として、四議員にはしっかりご活躍頂きたいと思ひます。 牧内記





かわいく・楽しく踊れたよ

全戸配布の案内効果もあり、招待者全員の出席をはじめ、多数の参画を頂き、賑やかに挙行されました。お楽しみコーナーの皆様も早

くから集まって、汗をかきながら準備してくれました。子供達も待ち遠しく、芝生の中央の『やぐら』の周りを喜んで走り回り、祭りのはじまりを待っていました。その元気な姿が未来の高森町を担う、たくましいお子様方に、希望と期待を感じました。

午後五時半、紅華の皆様による呼び込み太鼓が鳴り響き、いよいよお祭りの始まりです。各区へ豆絞りの手ぬぐいと、ビールが配布されました。ゆかた姿の参加者が多く、会場に華やかに色を添えて、夏祭りムードが盛り上がりしました。

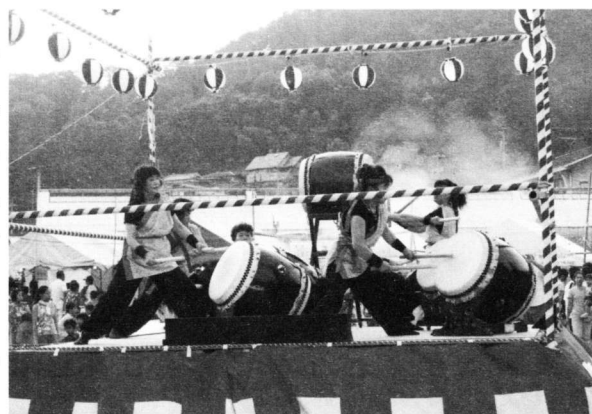
花火終了後は、子供達に本部よりジュースが配られ、嬉しそうに花火を片づけながら、ジュースをもらっていききました。そして最後に、全員の参加で盆踊りをして、楽しかった萩の里祭り



祭りの締めは、盆踊り

今年もにぎやかに 7月28日 萩の里祭り

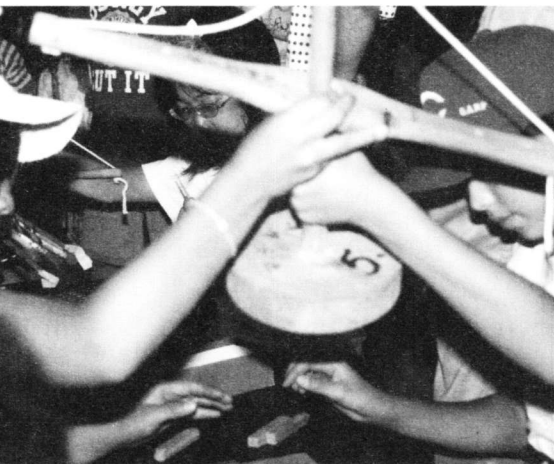
今年も天候に恵まれて、下市田区の年間行事の一つ「萩の里祭り」が盛大に行われました。大人から子供まで楽しみにしているイベントの一つです。



勢いよく太鼓の音が鳴り響く！

開会式の後、女性太鼓愛好グループによる、太鼓の演奏。そして子供エアロビクスの華麗なダンスと続き、吉田河原保育園・下市田保育園の園児と先生によるダンスは、とてもかわいらしかったです。

次いで各区の盆踊りの発表が行われました。盛りもだんだん暗くなり始め、各区の席もほろ酔い気分で賑やか盛り上がり、踊り手も見る側も、祭りは最高潮に達してきました。



力を合わせて縄文の火おこし

平成19年度 下市田文化祭り・敬老会 ぐるりウォーキング



盛況だった 文化祭り・敬老会

下市田区文化祭り・敬老会は、十月十三日・十四日の二日間、下市田区民会館にて開催されました。

展示発表は、屋内・屋外共に、田区内七十歳以上の素敵な人生の先輩の方、八五六名に招待状をお送りし、一六三名の方が出席されました。内容は、高齢者表彰とステージ発表となりますが、昔なじみのなつかしい顔を見つけては、旧交を温める姿がそこかしこで見られ、皆さん笑顔で楽しんでいました。

茶道クラブの皆さんによるお茶の接待も大好評で、やすらぎのひとつとなり、多くの方に喜んでいただきました。



表彰では、『喜寿』『米寿』『卒寿』で一二六名の方が表彰を受けました。表彰を受けられた方々、おめでとうございます。今後ますます健康でありますようお祈り申し上げます。

ステージ発表では、大正琴・踊り・民謡・吹奏楽・エアロビクス・健康体操・太鼓と、素晴らしいステージばかりでした。一緒に歌を口づさん

高年齢者表彰では、『喜寿』『米寿』『卒寿』で一二六名の方が表彰を受けました。表彰を受けられた方々、おめでとうございます。今後ますます健康でありますようお祈り申し上げます。

ステージ発表では、大正琴・踊り・民謡・吹奏楽・エアロビクス・健康体操・太鼓と、素晴らしいステージばかりでした。一緒に歌を口づさん

原田 記



ぐるり ウォーキング

文化祭り恒例の下市田ぐるりウォーキングが、十月十三日に開催されました。今回は史跡めぐりのコースと、途中より別れて親水公園での親子マレットゴルフ大会のコースにて、執り行われました。

参加者は約七十名、午後一時より四時まで、まず全員で史談会、水利・防災委員会の皆さんの説明を受けながら、羽根坂・唐沢洞・高森荘支援施設と歩き、中央公園にて休憩をとりました。この後史跡めぐりのコースと親子マレットゴルフ大会のコースとに別れて、史跡めぐりのコースは六地藏、あさぎりの郷、茂吉の碑、惣兵衛堤防、水天宮、健康センターあさぎりを通り区民会館へと戻りました。

親子マレットゴルフ大会のコースは、子供さんも十二人の参加で18ホールに親子で回りました。カップに入ると大きな歓声で喜び、ホールインワンも一回出るなど大盛況でした。時間の関係で18ホール回るのは難しかったですが、親子のふれあいがマレットゴルフを通じて十分出来たのではないかと思います。

終了後区民会館へ戻りましたが、身近な所の史跡見学、マレットゴルフを通じて、親子の心のつながり等々意義のあるぐるりウォーキングが、出来たことと思います。

棚田 記



ようこそ下市田へ

引越して来てよかった!!

四区 元木 秀和

私達に嫌な顔もせず、教えてくれました。その後は仲良くなり本当に嬉しかったです。

三番目の子の出産を機にこちらへ来て二年二ヶ月が経ちました。私達は、私と妻と子供三人の五人家族です。子供は三人共男の子で、元気がよすぎて毎日が戦争です。

私達がこちらへ来て嬉しかった事がたくさんあります。緑に囲まれて空気がおいしい事、夜空がきれいでとても静かな事、こちらで暮らしている方々がとても親切で心の温かい方が多いという事です。

私達が越してきたばかりの頃、わからない事の多い私達は幸せ者です。本当にありがとうございます。こんな家族ですが、これから末永くおつきあいして下さい。よろしくお願いします。



私達は幸せ者です。本当にありがとうございます。こんな家族ですが、これから末永くおつきあいして下さい。よろしくお願いします。

「旅」の楽しみ

二区 坂牧昌宏

誰でも、知らない土地の名所・旧跡を訪ねて、風景や歴史、文化それにその地の人情に触れてみたいと思うているのではないのでしょうか。そこで私共夫婦は旅を二度楽しむことにしております。それは、旅に行く前の計画の段階から始まりですが、私も家内も旅は大好きですが、旅行社の企画する



ネットでの情報収集など喜んでやってくれるので助かります。

赤トンボ

六区 三浦章与子

十月五日、娘の嫁ぎ先の河野での出来事である。

朝八時ころ、天気がいよいので洗濯物を野天に干すことにした。夜露にぬれている竿の先に赤トンボが止まっている。幼きころを思い出して、トンボの目をまわし捕えようと指を近づけると、私の指先に止まった。

逃げようともせず、だんだん手足でしっかりつかまり、羽根を下げて休み状態になった。あまりの可愛さ

ツアーには余り興味はありません。計画から宿探しまで自分の手で

することにしております。日本は島国とはいえ、とても広い国です。まだまだ行っていない所が一杯ありますが、とにかく足が丈夫で元気な内にと考えております。

ところで、旅の計画や行程、宿の予約など殆んどは家内がやってくれます。行き先候補地のガイドブック・パンフレット探しやインターネットでの情報

と驚きにしばし嘖然。目玉をくるくる回し辺りを見ているように見える。一休みして手足も温まったのか、動き出す気配に「さあ早く皆のところへおいき」と飛ばすと、うれしそうに回り、飛んでいった。「ああ、よかった……」

しかし、午後四時ころ洗濯物の取り入れに行くと、また赤トンボが竿に止まっている。朝の時と同じように、指を回しながら近づけると当たり前のように止まる。「えっ、うそう」と思わ



が、実のところこの期間が一番楽しく、待ち遠しい時だと思えます。行く先の様子や美味しい食べ物、名物に心を馳せて楽しむ、これが先ず最初の楽しみなのです。

今年は、沖縄の先島諸島へ一週間行程してきましたが、時間がゆったり流れて、心底からリラックスでき、印象に残る旅となりました。家内に感謝しております。

これからも、時間を創り出して旅に出たいと願っております。

ず叫んでしまった。まさか朝のトンボじゃないだろうに、逃げようともせず、手足でしっかりつかまり羽根を休めていく。まわりには一匹も見当たらない。まさか帰るところもなく戻ってきたのではないだろう。

この指先の感触にひたっているように動こうともせず目玉をきよろきよろ。こんなことがあろうだろうか。かわいいがいつかつまでとはいいか



わたしの作文



ぼくの作文

私は、今年、クラスのみ
んなとドッジボール大会に
出ました。小さい頃から私
はドッジボールが苦手でボ
ールを投げたりとったりで
きず、ただコートの中をに

自分の力を出し切れた
ドッジボール大会

小六 渋谷奈美(四区)

けまわっていま
なっていたので、はりきっ
て試合に出ました。でも、
私たちのチームは、いつも
の力が出せずに一回戦で負
けてしまいました。すごく
くやしかったです。けれど、
私は自分の力をしっかり出
すことができました。なの
で、私はこのドッジボール
大会にいい思い出です。次
やる時に生かしたいです。

たくさんさんの思い出

中三 北林智里(五区)

部の仲間との思い出は
今となれば全部良い思い出
です。

私は中一から中三になっ
た今まで、ずっと吹奏楽部
で「クラリネット」という
パートナーと一緒に過ごし
てきた。

運動部は毎年中学生連で負
けると引退だけど、吹部は
文化祭での演奏会が最後だ。
初めての文化祭、二回目

の文化祭と今までは先輩を
送る側だった。でも今はも
う送られる側になってしま
い、実際に送られてしまっ
た。三年間は本当に短い。
思っていたよりずっと。

この三年間では楽しい事
だってつらい事だっていっ
ぱいいっぱいあった。そし
て自分自身ちょっとだけ成
長できたかなって思う。吹



松の内(七日正月)

下市田の郷土史と民俗⑥

六日は「六日年」
と言って、(農家)
ミニ正月的な料理
で朝食を摂った。
この日は、七日の
「ほんやり様」に備
え、区域の松集め
を子供達はした。
区域だけでは不足
するので、他地域
の神社、お墓、秋
葉様、道路端にあ
る石造物などの
「やす」を、ばっち
らがいで集め競っ
た記憶がある。六日の夜は
夕食が済むと、父に誘われ
家の周辺にある柿などの樹
木に、父が「なりそか切りそ
こならんとたつ切るぞ」と
言って、鉈で樹皮を大きく
えぐり取る傍らで、子供達
は「なりますなります」と言っ
て、持っている飯粒をその
傷の処に箸で塗りつけた家
を弱らせ、実をつける為の
知恵だったかも知れない。

さて、松集めが済むと区
山や区内の篤志家の持ち山
からご神木(松など)を切
り出す。さあこれからが大
仕事。区内の各家から藁束
や竹、縄などを頂き、切っ
て来たご神木に巻き付けて
行く。最初に「おやす」を
開いたり、そのままだった
りでご神木に巻き付け、更
に藁などを巻き、縄で押さ
える。此の締め付け案配も
難しい。四間にも余るご神
木はやがて子供の両手で一
抱え近くの太さになる。最
頂点には日の丸扇と御幣を
着け仕上がりである。それ
を予め辻に掘ってある一米
近くの穴に、梯子と三本の
引き縄とで張子を合わせな
がら真っ直ぐに立てる。そ
の周囲に松、竹を寄せ、七
日の当日を待つ。

一方、近くに見張り小屋
を建て、火を炊きながら夜
通しご神木のおこもりをし
た。時には他地域のご神木
を襲い、火を放ったり、喧
嘩をしたりと。さて此の見
張り小屋は「難に対する見
張り」又は所謂「お籠もり
堂」的な小屋なのか？
「ほうほほうほ、ほんやり
ほうほ、あんも(餅)焼きお
いなんよ」早朝の呼び声に
起こされ、三三五五、餅と
わたしを持った大人達が集
まり、やがて点火。書き初
めの習字が勢いよく上がり、
破竹の音が明け方の空に響
き渡る。焼き上がった餅と、
火のついた松の枝二本を大
事に家まで持ち帰り、一本
は屋根に(火防)もう一本は
囲炉裏の種火にする。朝食
は、「七草なすな唐土の鳥と
日本の鳥と合わせてばーた
ばた」と言いながら細かく
刻み、餅がゆの中に入れ食
す。此の七草粥を食した後
は、子供達でご神木を抜き
取り、刻み、それを区内に
売り歩き、楽しい茶話会の
費用に充てた。本やり行事
については、ほとんど高学
年児童の指導の元行われ、
大人が手を出す事は少なく
なっている。現在材料などの不足
もあり、ご神木は立てるも
その下部におやすや松竹な
どのお飾りをつくねて焼く
「つくね焼き」方式に変わっ
てきている。「ほんやり」の
事を「どんと焼き」「三九郎」
と言う地方もある。(完)

(下市田史談会)



ほんやり準備風景

グループ紹介

「萩書会」

三区 杉田 幸枝

この会は、萩山神社のお膝元である三区の仲間が中心になって、二十年近くも前に発足しました。

当初は、会員も十人近くいて、長野や東京の展示会を見に出掛けたこともありましたが、今は五人（内二人は直接指導）月二回の練習に集まるのは三人だけです。

山吹の中平才先生の御指導で、区民会館や力行会館をお借りして、月二回の練習を行っております。

先生は龍峽書道会の会員でもありまして、私達も蘭契という冊子で勉強させて頂いております。毎月のお手本を先生の御指導で練習し、その作品を東京の本部へ送ると、三ヶ月後の冊子

に自分の名前が載る。一寸楽しみでもあります。

白紙に向かって筆を下ろす静かな一時は、悪くないです。（たいして練習しない私が言う言葉ではないかな？）何もしないのも淋しい、という自己満足的なところも。



下市田まで御指導に来て下さる事も、蘭契の作品を本部に送る世話をし下さる事も、ちっとも勉強してこない生徒がいっても、個々のペースに合わせ、気の長い御指導をして下さる事も、中平先生がいてこそ今の会で、有り難いことです。夜道の車の運転を心配しつつ、先生からお断りがあるまで、甘えさせて頂くつもりであります。

地域の紹介

地域の紹介

六区自治会長

岡本 健

下市田六区出り、砂原と言え、商店街のイメージが良かったのですが、大型店の進出や店主の老齢化により閉店したり、地区外への移転も多く、現在一五五戸です。交通の便は良くアパートは十棟位ありますが、三棟を持っています。一社の他は自治会の事業に参加してくれる人が少なく、その戸数も分からない状態です。防災訓練等連絡することが出来ず困っております。

出砂原独自の事業と言えば夏の灯籠流し煙火大会です。区や町の方達に大変お世話になり、今年も無事行うことが出来ました。八十四年と言う伝統は出砂原の要です。自治会全員が知恵と力を出し合って出来る限り頑張りたいと思います。尚一層の御協力をお願い致します。スポーツ面では、毎年常対抗のマレットゴルフ大会を親水公園で行い、家族全員が出席して試合後の懇親会は大変盛り

上がっております。高寿会も四年程前に再編成し四十名を越える人数になりました。女性の方達も以前の「自治会女性部」と「商工女性部」を一本化し「女性の会」として自治会行事に大きな力となっています。青年部は夏の納涼祭を担当していただき、お祭り広場の夜店市を行い、子供から老人迄楽しい一夜を過ごしてくれました。最近子供も増え、育成会の行事も色々行っておりますが、安心して住める地域作りをしなればならないと思っております。明神橋も新しく出来、高森町の東の玄関として、尚一層発展することを願っております。



区委員

スポーツ大会

今年も九月三十日（日）

に下市田区役員・各委員による交流・親睦スポーツ大会（グランドゴルフ大会）が計画されましたが、生憎の雨に見舞われ、スポーツ大会は中止となりました。聞けば昨年も雨で中止という事で、二年続けて開催できず、挨拶の中で話が有ったように、余程の「雨男」の皆さんの集まりと思われるます。

昨年からの役員・各委員の皆さんは、今年こそはと張り切っていたことと思うと残念でした。

来年度は雨の場合も考えて室内で出来る軽スポーツ大会も考えてみたらと、希望するものです。

従って、四時から懇親会の席となりました。運動して心地よい汗をかけた後の懇親会でしたら格別でしたが、しかし一杯入れれば皆さん話がはずみ、十分に盛り上がり、親睦出来ました。区役員・委員の皆さんと交流が出来、有意義な席であったと思います。

私も今年から土木委員となり、地区の聞き手役とし



て奉仕させて頂いて居りますが、活動が多いことに驚き、改めて区の関係役員・委員の皆さんの苦勞を感じた次第です。

今後またまりを大事にして、協力し合える場でありたい。担当された環境衛生委員会の皆さん御苦勞様でした。

土木副委員長 佐々木啓登

編集後記

異常な程の夏の猛暑、稲刈り時の長雨。そんな中で今年も支館事業時は好天に恵まれ各種事業を無事、終了する事ができました。多くの区民の皆様にご参加いただき感謝申し上げます。町のふるさと祭りに今年も下市田区は「おしるこ」の無料サービスを予定しております。毎年大評判のテント村に是非お出かけて、